

<福島県教育長賞>

税金を納めた向こう側に

会津若松市立北会津中学校 3年 坂場 心愛

「税金を納めることは大事なんだよ。」

家で話している時に祖父が言いました。私は「どうして大事なんだろう。」「面倒だし嫌。」とそんなことを思っていました。年金になるにしても自分の知っている人あげたいと思いました。でも、今の私の考えは違います。税金を納めることは人を助けることに繋がっています。

中学一年生の時、私の従姉妹が産まれました。でも従姉妹は予定より早く産まれたためとても小さかったです。身体が私の手の大きさ位でした。すぐに入院し、沢山のコードで繋がっていました。これで少しずつ成長していき十分な生活を送れるようになります。しかし、安心した反面、お金はどうするのだろうという気持ちがありました。勿論、普通の入院・治療費よりもお金が必要だし、金額はよく分からなかったけど従姉妹の両親や祖父母の話から、感じ取ることができました。

けれど、従姉妹の母親（私の叔母）は

「心配しなくて大丈夫だよ。」

と言いました。税の力のおかげで医療費の負担を減らすことができたからです。それによって従姉妹は成長していき退院することができました。

今、従姉妹は産まれた時からでは考えられない程、大きく育ち元気に走り回っています。税の支えがなかったら、従姉妹は違う状態だったかもしれません。従姉妹が元気でいられるのは、家族と税の支えがあったからです。

医療だけではなく、私たちの身の周りも税に助けられています。学生の皆さんが使っている教科書等や部活動の道具、道路や水道、警察や消防なども全て税があるから成り立ち人々を助けています。

税を納めることで、誰かの役に立ち、誰かを助けることに繋がります。その誰かは

自分かもしれないし全くの他人かもしれません。でも一人でも多くの人を助けることができるのならば、税を納め向き合っていこうと思います。前の私と同じ考えをしていた人は、今日から一緒に誰かを助けていきましょう。税金を納めた向こう側には明るい笑顔が溢れています。